

2021年9月15日
エア・ウォーター株式会社

株式会社スペースウォーカーと脱炭素社会の実現に向けた技術開発の基本合意書を締結
～ロケット開発技術を応用した高压タンクの用途開発に取り組みます～

エア・ウォーター株式会社（本社：大阪府大阪市中央区、代表取締役会長・CEO：豊田喜久夫、以下「エア・ウォーター」）及びエア・ウォーター北海道株式会社（本社：北海道札幌市中央区、代表取締役社長：北川裕二、以下「エア・ウォーター北海道」）は、宇宙スタートアップの株式会社SPACE WALKER（本社：東京都港区、代表取締役 CEO 眞鍋顕秀、以下、スペースウォーカー）と、脱炭素社会の実現に向けた水素利用に関する技術開発の基本合意書を新たに締結しましたので、お知らせいたします。

記

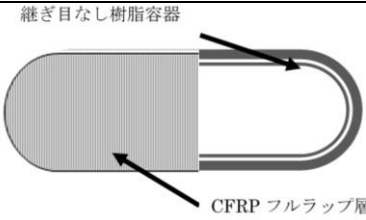
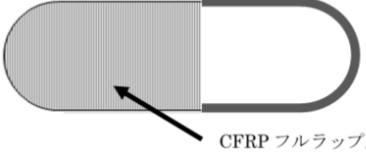
スペースウォーカーは、誰もが飛行機に乗るように自由に宇宙を往来する未来を目指し、持続可能な宇宙輸送手段を提供するために、有翼式再使用型サブオービタルスペースプレーンの研究・開発を行っています。当社とエア・ウォーター北海道は、宇宙開発を通じた地域の発展に貢献するため、スペースウォーカーと2020年9月に基本協定を締結し、主に宇宙へ向けた技術開発の協力関係を構築し具体的な検討を進めております。

こうした中、3社は、北海道大樹町にて打ち上げを計画する宇宙関連の取り組みに加えて、新たに脱炭素社会の実現に向けた技術開発の基本合意書を本年9月14日に締結しました。

当社とエア・ウォーター北海道は、産業ガス事業で培った高压ガスに関する豊富な知見と技術を保有しています。一方、スペースウォーカーは、ロケットに搭載するガス・液体燃料タンクをより軽量で頑強にするための様々な技術開発に取り組んでいます。今後は、3社の知見や技術を持ち寄り、主に地上での水素の輸送・供給設備に使用可能な「次世代複合材高压タンク※」の用途開発に共同で取り組んでまいります。

なお、開発する高压タンクは、今後、エネルギー用途での水素ガス需要の拡大が見込まれる中、水素トレーラーやカードルなどの輸送機器への展開や水素ステーションでの利用を想定しています。

※「次世代複合材高压タンク」とは

| TypeIV 樹脂ライナー(シームレス)のフルラップ複合容器 | Type V ライナーレスのフルラップ複合容器 |
|---|---|
|  <p>継ぎ目なし樹脂容器</p> <p>CFRP フルラップ層</p> |  <p>CFRP フルラップ層</p> |
| 特徴：軽量、安価、製造リードタイム短 | 特徴：最軽量 |

TypeIV・TypeVと呼ばれるCFRP（炭素繊維強化プラスチック）複合容器を指し、ロケット開発で最も重要となる「軽量化」の技術の一つです。金属容器または金属容器をライナーとして用いた従来品（Type I

～Ⅲ) と異なり、金属を使わないTypeⅣ・TypeⅤの容器で、耐久性・長寿命化と軽量化の両立を極限まで追求しています。

以 上

—— 【本件に関するお問合せ先】

エア・ウォーター株式会社 広報・IR部 E-mail : info-h@awi.co.jp

担当：中井・石井 TEL：06-6252-3966 〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目12番8号